

堺市旧市街(堺旧港～大小路界隈)のまちづくり

NPO法人自由都市堺・町衆会議 理事長 角山 榮
NPO法人自由都市堺・町衆会議 副理事長 ○阪木道生

1. 活動方針・目的

- ◎目的：堺旧港～大小路通り周辺地域を住み良く、訪れる人にも優しいまちづくりをする。
- ◎経緯：2001年に堺市内に行政主導で8つのまちづくり団体が誕生しました。その内、大小路シンボルロード付近の企業145社の経営者が中心になって活動する「大小路界隈『夢』倶楽部」と南海本線堺駅付近の飲食関係の経営者が中心になって活動する「堺旧港周辺を考える会」が力を合わせてまちづくり活動をする事に合意し、2006年に「NPO法人自由都市堺・町衆会議」を起ち上げました。同時にまちづくりの専門家や大手企業も参加しました。
- ◎地域の特徴：堺は1978年に放映されたNHKの大河ドラマ「黄金の日々」という番組でも紹介されたように15・6世紀には栄華を誇った町で、多くの寺社仏閣や仁徳天皇陵などの歴史文化資産も多く残り、線香・刃物などの産業は今も堺の伝統産業として有名です。
戦前までは堺旧港周辺は一大リゾート地域として多くの人たちが訪れ、賑わいました。当時は最先端の物が次々に導入され「物の始まり何でも堺」とさえ言われましたが、昨今時代の流れに取り残され、中心市街地においては経営者の高齢化と共に経済が疲弊しています。
そのような中、2007年秋より建設が始まったシャープ堺工場や、阪神高速大和川線の整備、更にはLRTの建設推進などにより、現在堺市内はにわかに活気づいています。

2. 活動内容

8年前、私達の住む堺旧港周辺の路上には投棄車両や大量のゴミが、電柱には風俗関連の捨て看板と張り紙だらけ、堺旧港にも大量のゴミが浮いていました。しかし行政も市民もそんなことには全く無関心でした。ある時一人の青年が道路と環濠(堀)のゴミ拾いを始めたことから、その輪が広がり地域の青年会がピラメクリやゴミ拾いを始めました。それを見て町会でも清掃活動が始まりました。

環濠にゴミがなくなってくると、最初にゴミ拾いを始めた青年は全国の人々に堺の歴史や良いところを見て貰おうと、NPO法人観濠クルーズ堺を起ち上げ観光船事業を始めました。また毎年秋には市民にも環濠に親しんで貰えるよう、手作りカヌーレースを企画しています。市民レベルでの町の賑わい創りとして冬には大小路シンボルロードや環濠にイルミネーションを施したり、初夏には環濠に鯉のぼりを吹き流しています。

そのような中で「NPO法人自由都市堺・町衆会議」が立ち上がり、2006年度は「町衆による堺旧港周辺活性化プロジェクト」というテーマで都市再生モデル調査を実施し、堺旧港や旧環濠を活用した町の将来ビジョンを作成しました。

続いて2007年度は「日本一暑い堺市に於ける『風の道』を活かした環境共生型まちづくり構想の策定」というテーマで再び都市再生モデル調査に参画し、環濠や緑を利用したヒートアイランドの緩和方法を研究しました。

環境問題が取り沙汰される中、2008年度は環境重視のまちづくりを進めるため環境省の「低炭素地域づくり面的対策推進事業」に取り組み、「交通対策」、「水と緑を活用したヒートアイランド抑止」、「太陽光などの未利用エネルギーの活用」など3つのテーマでCO2削減のための方法を調査研究しています。自動車交通を減らして便利な公共交通に切り替えてもらうためにオンデマンド電気バスの走行社会実験を東京大学と早稲田大学の協力により行いました。

3. 今後の課題等

2009年1月22日に堺市が環境モデル都市に指定されましたが、これを受けてコミュニティサイクル、または乗り捨て型レンタル自転車制度の具体策を現在検討しています。またLRTの計画が急ピッチで進んでおり、今後生活環境が変わることにより町の様子も大きく変わっていくことが予想されます。車社会からの脱却を目指してLRT沿線のまちづくりにも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

堺市旧市街（堺旧港～大小路界限）の まちづくり

NPO法人 自由都市堺・町衆会議

事務局長 阪木道生

NPOの生い立ち

- 2001年に堺市にまちづくり支援課が出来る。
- 8つのまちづくり団体が活動を始める。
- 大小路界限「夢」倶楽部
大小路シンボルロード沿いの企業と山之口筋商店街の商店など、総勢145社の経営者や社員が参加している。
- 堺旧港周辺を考える会
堺駅南口周辺の商店主や企業経営者、さらに一般市民も参加している。
- 2006年に堺市の仲立ちにより、この2つの団体が協力して都心地域（旧市街地）を活性化するためにNPOを立ち上げた。



大小路界限「夢」倶楽部の活動①

- 開口神社にある金龍井戸の復活。
- この井戸水を使った「夢衆」という名の地酒を作る。
- 開口神社でガラクタ市を毎月開催。
- 山之口商店街の空き店舗を借り上げて「夢庵」として改装。

表側の部屋をギャラリーとして解放し、内側の部屋を文化教室として貸し出している。



「大小路界限『夢』倶楽部・活動の中心」写真展 平成16年5月10日-21

大小路界限「夢」倶楽部の活動②

- 「夢庵」の3軒隣の店舗も夢浪漫本舗「夢創庵」として改装し、ミニコンサートや落語会「おたび寄席」を定期開催。
- 冬には恒例の大小路けやき並木のイルミネーション
- 大小路のフラワーロード活動
- 月1回の道路清掃活動



堺旧港周辺を考える会の活動

- 旧環濠を利用してイルミネーション活動や鯉のぼりを吹き流して町の賑わいを創出している。
- 道路清掃やビラめくりの地道な活動をしていたが、昨年春より堺旧港の南側護岸水際のゴミ拾い活動を毎月実施している。大阪府港湾局から「アドプト・シーサイド・堺旧港」として認定を受ける。



1年目の歩み（2006年度）

- 内閣府の都市再生モデル調査に応募し、「町衆による堺旧港周辺活性化プロジェクト」について調査、報告をした。



2年目の歩み（2007年度）

- 大阪府立大学の協力を得て都市再生モデル調査に参画し、「日本一暑い堺市における『風の道』を活かした環境共生型まちづくり構想の策定」について調査、報告をした。



3年目の歩み(2008年度)

- 「堺市都心地域温暖化対策地域協議会」を設立。
NPO法人自由都市堺・町衆会議、大阪府立大学、東京大学、早稲田大学、堺市環境局・建築都市局、関西電力(株)、南海バス(株)、(株)環境総合テクノス、の8団体が参加。
- 環境省の事業で「低炭素地域づくり面的対策推進事業」に応募し、旧環濠内のエリアでCO₂を減らして温暖化を抑制する方策を現在研究中。
- CO₂を減らす為に3つのテーマでまちづくりを検討。
 - (1) エネルギー対策
太陽光、風力など未利用エネルギーの活用について
 - (2) 水と緑の対策
河川や地下水の利用、植栽の導入により夏のヒートアイランド現象を和らげる方法について
 - (3) 交通対策
オンデマンド電気バスなど公共交通の活用について



NPOのこれからの取り組みについて

- シャープ堺工場による経済効果を堺市内に導入したい。
- シャープ稼働時に於ける周辺道路の交通渋滞緩和や排気ガスによる大気汚染の防止に取り組みたい。
- 上記2点を踏まえ、LRT堺駅～堺浜ルート of 早期実現を市民や行政に呼びかけたい。
- LRTの走行ルートに当たる堺駅西地区の再開発に向けてまちづくりデザインを提案したい。
- 堺市が環境モデル都市になったことを踏まえ太陽光発電を利用した環境に優しいまち「堺」のイメージを発信したい。
- CO₂削減のために自動車交通を抑制し、コミュニティサイクルを導入し、自転車の街「堺」を発信したい。